



決算を読みながら

おもしろ事



9月定例会が30日まで開会しています。その中で2021年度の決算審議をするために、分厚い決算書を読んでいます。どこに重点が置かれているのかがとてもひっかかりります。

コロナ予算は、DX推進や、ポストコロナに備えることに使われていますが、実際の市民の困り感に寄り添っているのか、次の感染の波への対策が講じられて医療や保健体制が充実したのか、ケア労働の条件、コロナを教訓に感染を起さないような学校や施設の改善は進んだのかと見ると、そうとは思えません。

自助、共助の強調と公共の役割の弱体化を感じてしまいます。

当事者が語る

「ひきこもり」

10日に開催された講演会に参加しました。対談も当事者だった2人で、ハツとすることがたくさんありました。

- ・親の安心は子の安心につながる
- ・怠けでも甘えでもない。学校行きしぶりはもういっぱい
- ・命の危険にさらされた状態。追い詰めないでまず休む。
- ・当事者の流れを大切に、邪魔しない。焦らず、横に並ぶ、後ろから支えるスタンスで！

今20万人

ともいわれる不登校。



家庭や子どもの問題ではなく、子どもを受けとめる学校や社会の寛容性の問題だ、と言う発言に、教育・学校・社会が問われているのだと改めて思いました。先日まで開かれていた学校再編意見交換会で出された意見と通じるものを感じました。

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との癒着をたて

新聞報道によると、地元出身の自民党国会議員が、「世界平和連合」や「西静岡平和大使協議会セミナー」など関連団体の会合に何度も参加。国政報告もしていたとのこと。

家族崩壊など多くの問題を起こしていたカルト集団と保守政治家の深い関係です。末端まできちんと調査をして事実を明らかにした上で、二度と関係を持たないようにしていただきたいです。

国葬での弔意の強制NO! の申し入れ

戦前国葬は国家主義の高揚に利用されてきました。民主主義国家の日本で特定政治家をあがめ奉る事に無理があります。

日本共産党は国、県に国民への弔意の強制が行なわれないよう要請しました。

また12日に共産党掛川市委員会は掛川市と市教育委員会に国葬時の弔意を強制しないよう、公共

の立場で弔意を示す行為をしないよう要請しました。



オシロイバナ
甘い香りで夜の虫をよびます

牧之原市の認定こども園バス置き去り死亡事件を受けて命を預かる保育施設として起こしてはならない事件です。責任を問うのはもちろんですが、後ろには保育基準の貧弱さ、規制緩和、保育士不足と多くの問題が潜んでいるように思います。

同様の事故を二度とおこさない安全対策を求めます。